

上宇部小学校 保護者の皆様

# 「えがお de サロン」のお知らせ

2学期末保護者会にあわせて、下記のとおり、「えがお de サロン」を開催します。

～えがお de サロンとは～

お茶やコーヒーを飲みながら、みんなで交流を深める場です。

お子さんのちょっと気になることや、誰に聞いたらいけかわからない学校のことなど、先輩ママさんたちと気軽におしゃべりしてみませんか？

保護者の皆様お誘い合わせのうえ、お子様と一緒に遊びに来てください♪



12月22日(水)

13時30分～16時30分

(場所) 児童棟1階 多目的室

体験しよう♪  
缶バッヂ作り  
おりがみ

子育ての関係の本も揃えています！



待機場所としてご利用ください  
お母さん同士の雑談もOKです！

主催 宇部市教育委員会  
「こどもえがおサポートチーム」

～こどもえがおサポートチームとは～  
スクールソーシャルワーカーと、こども  
えがおサポーター（先輩ママさん）が  
悩みを抱えるご家庭を支援するチームです



\*新型コロナウィルスの感染拡大状況によっては、開催内容を変更することがあります。

### ③ 効果のあった支援事例を紹介します!

Case

#### ■チーム員への書き取りから

##### (ケース-1)

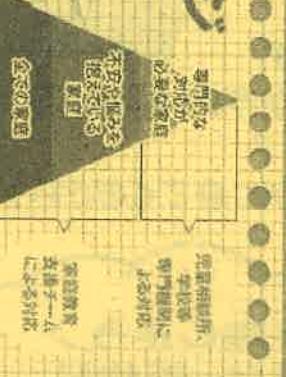
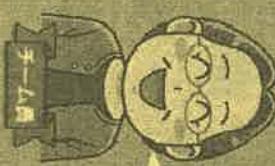
###### 元気に登校する日が増えてきました

Aさんの母親は日々の生活に疲れ、学校を休みがちなAさんに登校を促す元気がないとのことで、学校から依頼を受け、支援を開始しました。訪問する際の母親の負担を少なくするため、朝、チャイムを2回鳴らして5分待ち、子どもが出てきたら一緒に登校をすることにしました。また、カレンダーを活用し、Aさんと一緒に週間の目標を立てるようにしました。次第にAさんに変化が見られ、元気に登校する日が増えてきました。

##### (ケース-2)

###### ありのままの子どもを受け入れられるようになった

Bさんの母親は教育熱心で、「こうあるべきだ」という考え方が強いか傾向にありました。家庭訪問の際は、母親の話を傾聴し、時にはアドバイスも行いました。支援を続けていくうちに、Bさんの母親も「Bさんに合った生き方がある」と考え方のようになり、ありのままのBさんを受け入れられるようになったようです。Bさんの母親は、以前に比べて肩の力を抜いて子育てをしているように思います。



##### (ケース-3)

###### 担任とのつながりをつくるきっかけになった

Cさんの母親は、責任感が強く全てを抱え込んでしまう傾向にありました。また、これまでの学校の内面に不満感をもっていました。Cさんが不登校になったことをきっかけに、チーム員が家庭訪問を開始し、母親の話を傾聴することで、母親の表情が和らいだきました。学年末懇談会で、母親・担任・チーム員の3人で話をしました。それをきっかけに母親と担任との関係もよくなってきました。現在は、母親と学校(担任や教育相談担当等)が話をする機会を定期的に設けています。

##### (ケース-4)

###### チーム員やSSWの支援が母親の就労につながった

Dさんの家庭はひとり親家庭で母親は働いていませんでした。Dさんが中学校に入學して不登校になってしまったことをきっかけに、家庭訪問を開始しました。母親は懇談会に出席しませんでしたが、チーム員が家庭を訪問し母親の話を傾聴することで次第にチーム員に心を開くようになりました。チーム員の話いでサロンに参加し、そこでSSWとのつながりができました。その後、SSWの働きかけにより母親は新しい仕事に就き、少しすずつ家庭が安定してきました。

